

【22_262思考系メルマガ】『リスクを取る』の意味について

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今回のテーマは、メルマガ登録時に「これが知りたい！」というテーマを自由記述で書いてくれた方の質問で

改めて言語化すると面白い発見があるかなあと思って書きました。

タイトルにしてしまうとそのままなんですけど、トレードにおいて『リスクを取る』とはどういうことか？という抽象的な問いかけになります。

▼キッカケの質問▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1569127626417278977?s=20&t=_IsAhsIbL0zQf-F77XKjSA

個人情報の部分は伏せさせて頂きましたが、僕の中ではトレードというのは

常にリスクを取っているのが当たり前 という認識だったので、『リスクの取り方』という方法論の方に考えが行きがちだったのですが。。。

この質問を送って下さった方が言うように、「そもそも、リスクを取るってどういうことなんよ？」

という点が明確にならなければ、そもそも方法論を考えること自体意味が無いですね。

そこで、今回のメインテーマとして根本的に『トレードにおけるリスクの考え方』をハッキリさせようじゃないか、というお話です。

┌
└─ トレードに『必ずついて回るリスク』とはなんですか？
└──────────────────┘

皆さんは、このように訊かれたら自分だったらどう答えるでしょう？

何となくでもいいので、イメージを膨らませながら読み進めてみてください。

僕の結論を言うと、『マーケットに自分のリスクを晒した(=エントリーした)瞬間から、既に僕らはリスクを取った状態である』です。

なぜかという、ロングだろうとショートだろうと、ロットを決めてポジションを取った瞬間には

それは利益を確定するか、損失を確定するか・・・結末はどちらかしか無いわけで

要するに『リワード(利益)を得るか、リスク(損失)を被るか』の二者択一を迫られる状態です。

リンク先に書かれている「リスクを取る=敢えて損をしに行く」という表現も

あながち間違っているわけではないのですが、トレードする僕らは

最終的な目的として『最後に利益を得る』ことでなくてはいけませんよね。

でなければ、わざわざマーケットに自分の資金を晒すという『リスク』をおかす意味はまったく無い事になるわけですから。

なので、より正確に表現するのであれば、「あえて損をしに行く」のではなく

『適正量のリスクを取ったうえで、それを上回る利益を得る』行動をし続けることが

僕らにとっての『リスクを取る』行動という事になります。

つまり、【期待できる利益 が 想定している損失(リスク)より大きい状態】を保ちつつ

『必要なリスク(≒コスト、必要経費)』を支払うという事です。

この話は、よく飲食店経営に例えられることも多いですが

飲食店を開業する時には、まず店を構えないといけないので

<リスク>

店舗を借りる、厨房器具を揃える、従業員を雇う、宣伝する・・・などなど

営業開始までに掛かる費用が先に発生する

<リワード>

店が繁盛し、売上げが上がり、黒字運営

すっごくザックリ書けばこんな感じですかね。

トレードは、口座を開設して、お金を入れたらすぐにトレード出来てしまうので

この、いわゆる『営業開始』までの参入ハードルが凄く低いのです。

なので、誰でも気軽に始められるもののように見えるし、何となく簡単そうに見えてしまうわけですが

途中からやればやるほど気付くのです。「全然お金増えないじゃん。むしろ減ってるじゃん」と。

そう。。。この『リスクを取る』という意識が希薄すぎるが故に、自分のやっている事が

どれだけリスクを取っているのかが『実感』を伴って理解しづらいので「リスクを取る」と言う事に対するイメージも凄く持ちづらいというのが

このトレードの難しさに拍車をかけている側面もあるのです。

しかし逆に、ここまで『リスク』という実体を言語化できてしまえば

逆に自分がこれから何をしようとしているのかがハッキリ見えてくるはずですから

そこをスタートにして、僕らがやるべき事はひとつです。

課題:『リスク』を上回る『リワード』を得るにはどうしたらよいか？

⇒ 一貫したトレードを行うための『技術』を習得する

⇒ リスクの『見える化』をする(資金管理、ロット管理)

⇒ 資本を用意する(本業の収入から少しずつ余剰資金を貯める)

この流れは、僕が実際にこれまでに行ってきた『トレード技術』確立に向けての作業工程です。

凄く簡単に書いていますが、この仕組みを自分の中に作る過程では、人から教わったことを消化したり

自分で検証、フォワードテストを行ってきたりと、数年単位での取り組みになります。

最初は、具体的なリスクの大きさを把握するのも苦労するかもしれません。
(実際、僕も最初は自分にとっての適切なリスクサイズを把握できていませんでした)

ですが、これは実際に自分でデモトレードをしてみたり、そこから集めたデータを振り返りながら

自分の器量で負いきれるリスクの大きさを把握するとか、そこからどれくらいの利益を見込めばトータルで勝てるのか？

そういった試行錯誤の末に、徐々に輪郭が見えてくるものになります。

そこに人から教えてもらえる答えというものはありません。

非常に厳しい世界ですがそこを乗り越えられれば、あとはレバレッジを効かせて

普段の生活をしていく以上の収入を得られるポテンシャルを持っているのが

トレードという世界の大きな可能性であり、面白い所でもあります。

まだ取り組み始めて間もない方にとっては、特に途方もない話のように感じられるかもしれませんが

そこを考えるためのヒントになる話を、僕自身のアウトプットも兼ねて今後も引き続き共有していきます。

まだメルマガ登録して頂いて間もない人にも、ある程度ポイントが貯まった時点で

今年1年間に書き進めてきたメールのバックナンバーを差し上げていますので、有効に活用して貰えたら幸いです。